

■日時 平成30年8月15日(水) ■天候 晴れ クラーク記念国際高等学校 京都 通信制 対 清和学園高等学校 通信制

■球場 稲城中央公園野球場 第2試合 1回戦 ■試合時間 2時間03分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:栗村 塁審:鈴木(礼) 竹本 菊池

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7							計	安	失
清和学園・通	埼玉	4	0	0	2	0	2	0							8	8	1
クラーク京都・通	京都	0	0	0	0	0	0	1							1	9	3

清和学園・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7				
1	二	磯部 翔海	3	0	0	0	四球	三振	三振		四球		遊ゴ				
2	中	榎本 瑠輔	4	2	1	0	投ゴ	三安		三失	三ゴ		四球				
3	投	鈴木 翔悟	4	2	2	2	中3	四球		左2			遊ゴ	遊併			
4	遊	大日向 礼央	2	1	1	1	中安	遊飛		四球			四球				
5	捕	石川 拓哉	4	1	0	0	三振	三振		三振			遊ゴ				
6	一	新井 翔太	3	2	2	2	右安		四球	二失			中安				
7	三	田端 優貴	4	0	2	2	中安		遊ゴ	三振			右2				
8	左	石塚 拓海	1	0	0	0	四球		四球			三ゴ	死球				
9	右	奥石 拓己	4	0	0	0	三振		三振			遊直	三振				
合計			29	8	8	8	残塁:10 併殺:0										

備考

■バッテリー

投手
鈴木 翔悟

捕手
石川 拓哉

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
鈴木 翔悟	7	33	9	8	4	0

クラーク京都・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7				
1	投	片岡 風心	4	1	4	0	遊安		左安		右安		遊安				
2	遊	小野 駿太	3	0	0	0	三振		三振		四球		投ゴ				
3	二	光山 尚典	4	0	2	0	左2		左飛		捕邪		左安				
4	捕	吉村 陸	4	0	0	0	投飛			三ゴ	三ゴ		三失				
5	三	松田 徳	3	0	1	0		三ゴ		一安	三ゴ		四球				
6	一	山本 将大	3	0	0	0		投飛		四球		遊飛	三振				
7	中	森本 恭広	3	0	2	0		二安		二安		三振					
8	左	和山 雪菜	3	0	0	0		三振		三振		投ゴ					
9	右	石野 俊斗	2	0	0	0			四球	三振			三振				
合計			29	1	9	0	残塁:11 併殺:1										

備考

■バッテリー

投手
片岡 風心

捕手
吉村 陸

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
片岡 風心	7	39	8	9	10	5

■戦評

1回戦稲城中央公園野球場の第2試合は、初出場の京都府代表・クラーク記念国際高校・京都・通信制と10年ぶり2回目出場の埼玉県代表・清和学園高校・通信制の対戦となった。清和学園は3番鈴木が適時三塁打で先制すると4番大日向の適時安打により1点を追加する。さらに7番田端の適時安打に相手のミスが重なり2人が生還しこの回計4点を奪う。対するクラーク記念国際・京都は3回先頭の9番石野が四球で出塁すると続く1番片岡が二打席連続となる安打で好機を広げたが後続が断たれ得点を奪えない。4回清和学園は無死二塁から3番鈴木が左翼へ大きな飛球を放つも打球はこの日球場に時折吹いた強い逆風に押し戻されワンバウンドでフェンスを越え適時二塁打となったが、敵失の間に自らも生還し貴重な追加点を奪う。6回に清和学園が2点を追加し8-0で迎えた7回、クラーク記念国際・京都は一死一塁から主将光山が安打でつなぎ敵失により1点を返すが反撃もここまで。鈴木は投打による活躍が光った清和学園が7回コールド8-1で勝利した。一方敗れたクラーク記念国際・京都は1番片岡が4打数4安打を記録するなどチームで相手を上回る9安打を放つも11残塁と攻撃がかみ合わず無念の敗戦となった。